

常陸大宮



期待と不安に胸いっぱいの新一年生
大宮小学校入学式

主な内容

P2～3	国民健康保険保健事業実施計画
P4～10	平成28年度当初予算
P12～18	まちのできごと
P20	健康通信 ～予防接種～
P21	ふるさと見て歩き 駒形神社の春まつり

国民健康保険保健事業実施計画を策定しました ～データヘルス計画～

データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、保険者（市）が医療費と健診のデータを結びつけることにより、被保険者（国保加入者）の健康課題等を分析し、その課題を改善するために効率的・効果的な保健事業をPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）で行うための実施計画です。

本市においても、保健事業実施指針に基づき「常陸大宮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定し、生活習慣病対策をはじめとする国保加入者の健康増進や、重症化予防等、保健事業の実施と評価を行います。

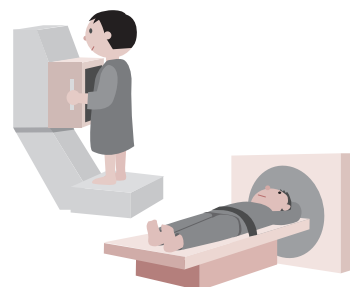
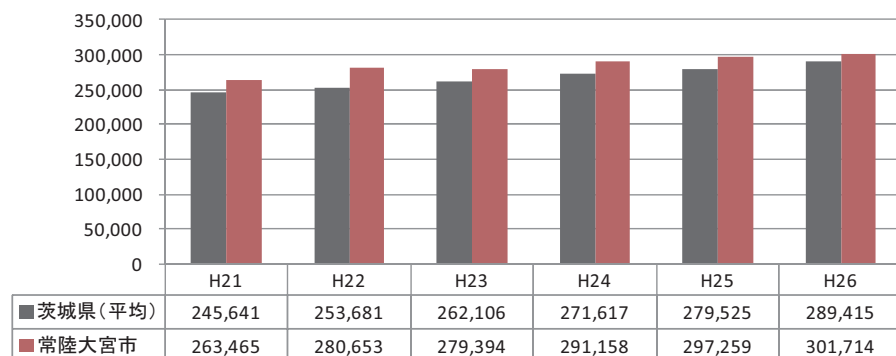
医療費等の分析結果からみる現状と課題

○一人あたりの医療費の推移

本市の国民健康保険事業においても、一人あたりの医療費は増加傾向にあるため、今後、医療費を適正化するための取り組みがますます必要になってきます。

【一人あたりの医療費：茨城県との比較】

（単位：円）



○疾病別医療費上位5疾病*

疾病別医療費について見ると、高血圧性疾患や糖尿病といった生活習慣病関連の疾病が上位を占めていることが分かります。

100万未満は四捨五入

順位	中分類疾病項目	医療費	患者数
1 位	高血圧性疾患	2 億6, 500万円	4, 162人
2 位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2 億4, 800万円	463人
3 位	糖尿病	2 億300万円	3, 566人
4 位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症等）	1 億7, 600万円	4, 286人
5 位	その他の悪性新生物（前立腺癌等）	1 億6, 100万円	1, 345人

計画期間

第2期特定健康診査・特定保健指導実施計画との整合性から、最終年度である平成29年度までとします。

常陸大宮市国民健康保険の概況

国保加入世帯数 7, 496世帯
被保険者数 13, 507人
（平成27年3月31日現在）

【特定健康診査受診率】

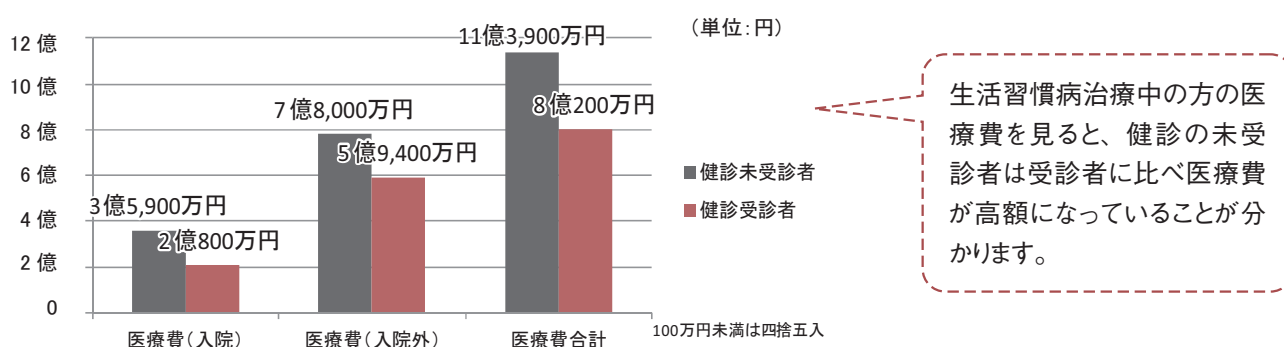
年度	対象者数	受診者数	受診率
H24	9, 439	4, 829	51. 2%
H25	9, 476	4, 853	51. 2%
H26	9, 355	4, 721	50. 5%

○患者一人あたりの医療費上位5疾病*

一人あたりの医療費で上位の腎不全は、生活習慣病の合併症として発症する可能性の高い疾病であり、人工透析等による高額な医療費が必要となります。

順位	中分類疾病項目	患者一人あたりの医療費	患者数
1位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物（直腸癌等）	592,732円	50人
2位	腎不全（急性・慢性腎不全等）	573,438円	264人
3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	535,607円	463人
4位	白血病	446,800円	26人
5位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	236,959円	11人

○健診未受診者と受診者の医療費の比較*



※分析対象…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分（12カ月分）

実施事業と実施内容

これらの現状から、本市においても生活習慣病の対策が課題であることが分かります。

生活習慣病の発症予防や重症化予防、医療費適正化等の対策に取り組んでいく必要があることから、データヘルス計画に以下のような実施事業を定めました。

- (1) 特定健康診査未受診者対策事業《特定健診受診率向上》
- (2) 特定保健指導事業《生活習慣病予防及び生活習慣の改善》
- (3) ドック検診《人間ドック・脳ドック検診費用助成》
- (4) 重症化予防事業《脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症における病期進行防止》
- (5) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業《医療機関受診勧奨による重症化予防》
- (6) 受診行動適正化指導事業《多受診者への適正な受診指導》
- (7) ジェネリック医薬品差額通知事業《ジェネリック医薬品普及率向上及び薬剤費負担軽減》
- (8) 健康づくり事業《健康づくりに対する普及・啓発》
- (9) COPD（慢性閉塞性肺疾患）啓発・予防事業《COPDの認知度向上及び禁煙指導》

■問い合わせ■ 医療保険課 医療保険グループ ☎52 - 1111（内線162）
健康推進課 [総合保健福祉センター（かがやき）内] ☎54 - 7121

平成28年度 一般会計当初予算 229億2千万円

平成28年度の一般会計当初予算は、229億2千万円で、前年度より4.2%増となりました。

歳入では、地方交付税が合併算定替特例措置の逓減により減額となる一方で、第二中学校整備事業などで国庫支出金や市債が増額となりました。また、財政調整基金等からの繰入金も増額しました。

歳出では、財政健全化に努めながら、市総合計画の推進と市勢発展につながるよう、継続的な課題として人口減少対策に取り組むとともに、引き続き、福祉の充実、安心・安全の確保、教育・文化の振興等に配慮した予算編成を行いました。

その他では、簡易水道事業を上水道事業に統合することから、特別会計の合計で、9.6%減の127億9,050万円、上水道事業会計で、102.5%増の18億7,281万5千円となりました。全会計予算の総額は、前年度より1.4%増の375億8,331万5千円となりました。

平成28年度 会計別予算額

(単位：千円、%)

会 計 名	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
一 般 会 計	22,920,000	22,000,000	920,000	4.2
国民健康保険 特 別 会 計	5,867,000	5,883,000	△16,000	△0.3
事業勘定 診療施設勘定	196,000	178,000	18,000	10.1
公共下水道事業特別会計	704,000	680,000	24,000	3.5
公営墓地特別会計	9,500	27,400	△17,900	△65.3
農業集落排水事業特別会計	534,000	534,000	0	0.0
介護保険特別会計	4,875,000	4,894,000	△19,000	△0.4
宅地造成事業特別会計	22,400	29,500	△7,100	△24.1
戸別浄化槽整備事業特別会計	45,600	45,000	600	1.3
温泉事業特別会計	86,000	613,000	△527,000	△86.0
後期高齢者医療特別会計	451,000	455,000	△4,000	△0.9
上水道 事業会計	1,318,381	733,121	585,260	79.8
収益的支出 資本的支出	554,434	191,874	362,560	189.0
簡易水道事業特別会計	0	811,000	△811,000	皆減
合 計	37,583,315	37,074,895	508,420	1.4

一般会計

市民1人
あたりの予算

519,528円
(492,082円)

1世帯
あたりの予算

1,301,090円
(1,256,281円)

●平成28年1月1日現在住基人口
44,117人

●平成28年1月1日現在世帯数
17,616世帯
() 内は前年度の金額

一般会計【歳入】

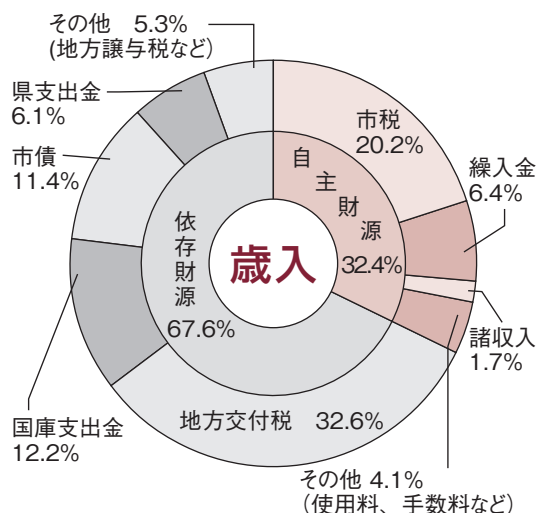
一般会計歳入予算財源別内訳

(単位：千円)

科 目	平成28年度	平成27年度	増減額
自主財源			
市 税	4,633,968	4,595,162	38,806
繰 入 金	1,475,185	1,029,994	445,191
諸 収 入	387,137	383,550	3,587
そ の 他 ※1	936,018	847,890	88,128
計	7,432,308	6,856,596	575,712
依存財源			
地 方 交 付 税	7,480,000	7,928,000	△448,000
国 庫 支 出 金	2,807,888	2,392,673	415,215
市 債	2,602,800	2,373,500	229,300
県 支 出 金	1,390,451	1,296,537	93,914
そ の 他 ※2	1,206,553	1,152,694	53,859
計	15,487,692	15,143,404	344,288

※1 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

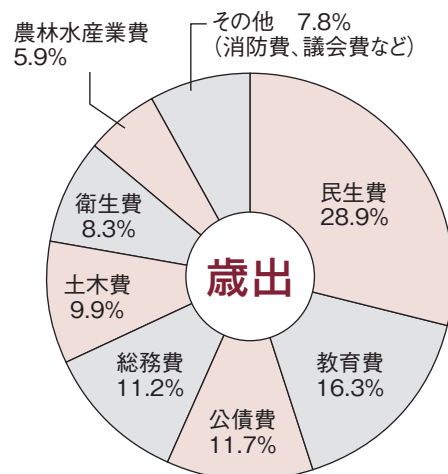


一般会計【歳出】

一般会計歳出予算科目別内訳

(単位：千円)

科 目	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	増減額
1. 議 会 費	212,931	235,324	△22,393
2. 総 務 費	2,561,794	2,454,249	107,545
3. 民 生 費	6,631,012	6,431,821	199,191
4. 衛 生 費	1,900,126	1,845,175	54,951
5. 労 働 費	9,387	37,311	△27,924
6. 農林水産業費	1,349,315	1,347,926	1,389
7. 商 工 費	474,782	953,389	△478,607
8. 土 木 費	2,269,860	1,963,467	306,393
9. 消 防 費	1,058,826	1,164,679	△105,853
10. 教 育 費	3,729,259	2,676,535	1,052,724
11. 災 害 復 旧 費	1	1	0
12. 公 債 費	2,677,600	2,843,841	△166,241
13. 諸 支 出 金	25,107	26,282	△1,175
14. 予 備 費	20,000	20,000	0
合 計	22,920,000	22,000,000	920,000



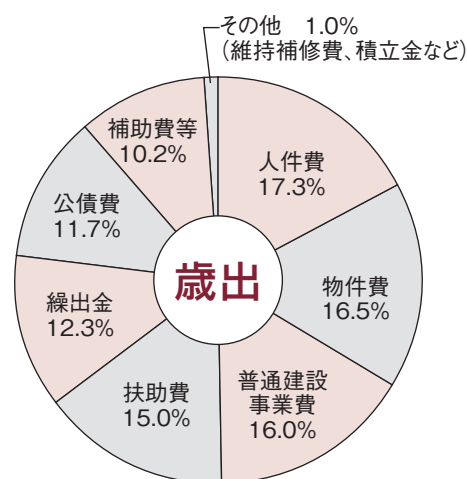
【主な増減】

- 総務費は、子育て世帯等の定住促進のための住宅取得奨励金などにより増額となっています。
- 民生費は、市内民間保育園の改築に対する施設整備費補助金などにより増額となっています。
- 衛生費は、常陸大宮済生会病院における医師の確保及び負担軽減を目的とする、医師確保等事業補助金により増額となっています。
- 商工費は、道の駅整備事業の完了により減額となっています。
- 土木費は、橋梁耐震化事業費や橋などの道路構造物の老朽化による被害防止のための道路構造物維持点検委託料の増により増額となっています。
- 消防費は、消防本部訓練塔新築工事の完了により減額となっています。
- 教育費は、昨年度から実施している第二中学校整備事業費の増により増額となっています。
- 公債費は、後年度の負担を考慮し市債の発行を抑制してきたことから、償還元金などが減額となっています。

一般会計歳出予算性質別内訳

(単位：千円)

区 分	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	増減額
1. 人 件 費	3,966,837	4,025,262	△58,425
2. 物 件 費	3,788,047	3,704,526	83,521
3. 維持補修費	105,288	95,524	9,764
4. 扶 助 費	3,432,793	3,302,307	130,486
5. 補 助 費 等	2,336,320	1,958,563	377,757
6. 普通建設事業費	3,660,100	2,886,967	773,133
7. 災害復旧事業費	1	1	0
8. 公 債 費	2,677,600	2,843,841	△166,241
9. 積 立 金	73,067	136,559	△63,492
10. 投資及び出資金	400	71,100	△70,700
11. 貸 付 金	40,036	37,536	2,500
12. 繰 出 金	2,819,511	2,917,814	△98,303
13. 予 備 費	20,000	20,000	0
合 計	22,920,000	22,000,000	920,000



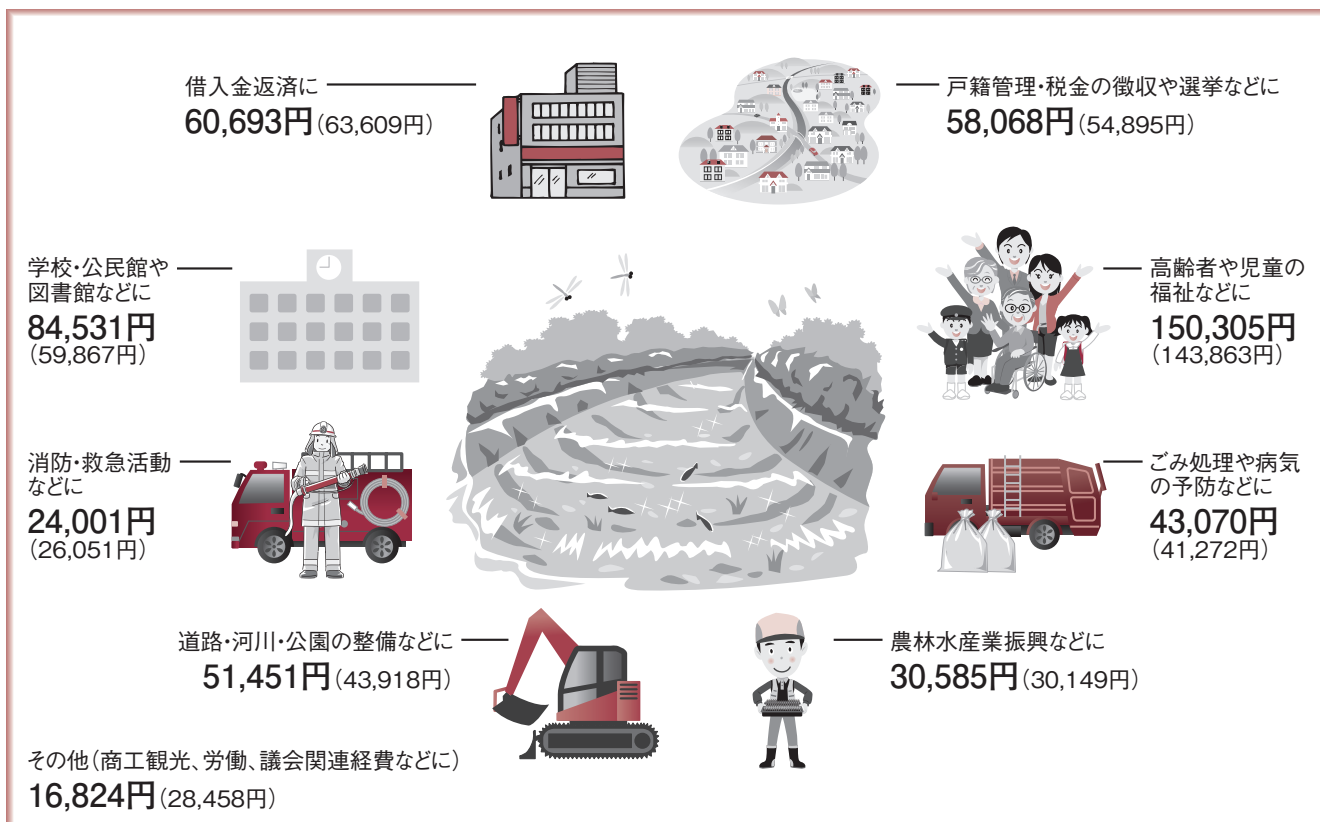
【主な増減】

- 人件費は、職員数削減等により減額となっています。
- 物件費は、道路構造物維持点検委託料などの増により増額となっています。
- 扶助費は、民間保育園等に対する保育所入所委託料等や障害者自立支援事業費の増により増額となっています。
- 普通建設事業費は、第二中学校整備事業費や橋梁耐震化事業費の増により増額となっています。
- 積立金は、ふるさと応援基金積立金の減により減額となっています。
- 投資及び出資金は、道の駅管理運営法人出資金の皆減により減額となっています。

一般会計【歳出】

【市民1人あたりの予算】

() 内は前年度の金額



平成28年度 一般会計主要事業

【総務費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
地域おこし協力隊事業	22,882	地域おこし協力隊を採用し地域活性化を図ります。 ・地域情報の調査、発信担当 ・移住コンシェルジュ ・農家民泊推進担当 ・地区活性化担当
移住促進事業	4,242	地域おこし協力隊の「移住コンシェルジュ」を活用し、本市への移住を促進するため、都内をはじめとして市内外でのイベント等を実施します。
本庁舎照明LED交換業務	18,797	本庁舎照明約2,500個を、電力使用量が少ない発光ダイオード(LED)照明に更新します。
移動通信用鉄塔施設整備事業	21,700	携帯電話の移動通信が利用できない地域の解消のため、山方地域に鉄塔2基を設置します。
情報収集発信事業	5,212	伝統文化や生活などの魅力を、市と市民が協力して情報収集し発信していくことで、市のイメージアップを図ります。
公共施設等総合管理計画策定業務	16,484	公共施設の現況の分析から今後の管理について、長期的な計画を策定します。
街路灯LED化更新事業	2,190	区等が実施する街路灯の発光ダイオード(LED)化更新事業に対して補助します。

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
新婚家庭家賃助成事業	12,600	市内の民間賃貸住宅に入居する新婚家庭を対象に、家賃の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市内定住を促進します。
定住促進のための住宅取得奨励事業	45,000	市内に住宅を建設・取得する子育て世帯等に対し、住宅取得奨励金を交付し、市内定住と活力あるまちづくりを推進します。



【民生費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
元気ひたちおおみや結婚応援事業	1,681	結婚相談員を配置し、結婚の相談や紹介、婚活パーティを開催します。今年度は、特色ある婚活パーティを取り入れます。
防犯カメラ設置事業	750	J R玉川村駅前に防犯カメラを設置し、犯罪の抑制を図ります。
医療福祉費(マル福制度)	314,452	外来及び入院に係る医療費について、小児は中学校3年生まで、妊産婦は産婦人科及び産婦人科以外の医療機関も助成し、医療費の負担軽減を図ります。
出産祝金支給事業	11,000	次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、健やかな成長を願い、出産祝金を支給します。
民間保育園施設整備事業	114,814	児童福祉の向上を図るため、市内民間保育園の施設整備を補助します。
病児保育事業	2,006	病気の回復期の児童を、専用スペースで預かる事業に対して補助します。
地域子育て支援拠点事業	32,057	子育てで広場で、子育てに関する相談などを実施します。また今年度からは、出産前の相談についても取り組みます。
赤ちゃんの駅設置事業	606	授乳ができるテントと折りたたみ式おむつ交換台(2セット)を整備し、市内で開催されるイベント等に無料で貸し出し、乳児連れの親子が安心して参加できる環境を整えます。
高齢者福祉タクシー事業	23,400	高齢者等が医療機関、各種福祉行事への参加、市役所等の施設への移動手段に利用するタクシー料金の一部を助成します。



【衛生費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
常陸大宮済生会病院運営補助金及び医療機器等更新事業補助金	300,000	県北西部地域の医療サービスの充実を図るため、二次救急医療を担う常陸大宮済生会病院に対し、運営費及び医療機器等更新事業を補助します。
常陸大宮済生会病院医師確保等事業補助金	50,000	常陸大宮済生会病院における医師の確保及び医師の負担軽減を図るため補助します。
地域医療を担う人材確保修学資金貸付金	20,000	地域医療を担う人材の育成及び確保を図るため、医学を履修する学生に対し、修学に必要な資金を貸し付けます。

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
不妊治療費助成事業	1,200	夫婦が受ける不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精の特定不妊治療に対して、費用の一部を助成します。
マタニティサポート事業	2,335	出産に必要な体力アップとしてマタニティビクスの開催や歯科健康診断、公共施設等の駐車場にマタニティマークを標示するなど、妊婦に優しいまちづくりを推進します。
住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金	7,000	自然環境保全及び地球温暖化防止を目的に、太陽光発電システムを自宅へ設置する方に補助します。
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器導入補助金	4,000	省エネルギー及び二酸化炭素排出削減のため、二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器を自宅に設置する方に補助します。



【農林水産業費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
農村集落活性化支援事業	4,000	国の農村集落活性化支援事業に選定され、特産品の開発や道の駅を活用した地域活性化などを実施する大賀地域活性化協議会を支援します。
有害鳥獣捕獲事業費	11,839	有害鳥獣捕獲隊に捕獲を委託するほか、電気柵等の購入費に対する補助などを実施し、イノシシ等による農作物の被害防止を図ります。
地域ブランド・6次産業化推進事業	1,164	地域ブランド認定制度を設け、農林畜産物の需要拡大と産業の振興を図ります。
山間急傾斜土地改良事業	40,978	山間急傾斜地帯の農業生産基盤の整備を行い、営農の効率化と農業の振興を図ります。
多面的機能支払推進事業	65,285	農業者等の組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等、地域資源の保全活動を支援します。
木造住宅建設助成金	14,400	林業の振興と地域産業の育成を図るため、市産材を使用した住宅の建設に対して助成します。
高井勝利基金事業補助金	28,169	林業振興と人材育成を目的として、本市出身の高井勝利氏の寄附金1億円で創設した基金を活用し、森林の間伐作業道開設、造林事業、市内小中学生対象の森林教室推進事業を実施する団体等へ補助します。



【商工費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
住宅リフォーム資金補助金	6,500	緊急地域経済対策の一環として、市内建築業者による住宅のリフォーム工事に対して補助します。
常陸大宮ふるさとB級グルメグランプリ補助金	1,450	第6回「常陸大宮ふるさとB級グルメ選手権」の開催を補助します。
道の駅常陸大宮管理費	16,266	奥久慈の玄関口に位置し、久慈川の親水広場を併せ持つ道の駅常陸大宮「かわプラザ」を適切に管理します。

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
道の駅出荷団体育成事業	5,800	道の駅常陸大宮へ農産物等を出荷する団体に対し、育成事業費及び施設・設備等整備事業費の補助を行います。



【土木費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
橋梁耐震化事業費	543,000	久慈川に架かる宇留野坏橋、辰ノ口橋の耐震補強工事を実施します。
橋梁維持補修費	57,000	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市内3橋の維持工事を実施します。
道路新設改良費	342,717	市道の改良・舗装工事を行い、道路交通体系を整備し、生活の利便性を図ります。
道路構造物維持点検	129,600	橋などの道路構造物の老朽化による被害防止のため、道路構造物維持点検を実施します。



【消防費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
土砂災害ハザードマップ作成	5,379	危険地帯の調査が完了した、美和・緒川地域の土砂災害ハザードマップを作成し、各戸に配布します。
防災行政無線デジタル化整備事業	150,000	本庁、花立中継局及び各総合支所と、災害時の避難所等に対応する移動局のデジタル移動通信システムの整備を図ります。
消防施設建設費	12,901	第11分団第2部の消防機械器具置場建築工事を実施します。
消防ポンプ自動車購入費	19,000	第11分団第3部の消防ポンプ自動車を更新します。



【教育費】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要
第二中学校整備事業	1,581,005	第二中学校校舎及び屋内運動場改築工事を実施します。
学校ホームページ運営事業	2,367	クラウドサービスを活用し、小中学校のホームページの充実を図ります。
西塩子の回り舞台定期公演補助金	2,800	江戸時代後期の道具も残る組立式の農村歌舞伎舞台を有する西塩子の回り舞台の定期公演（3年毎）を補助します。
市史編さん事業	5,117	市史編さん基本方針に基づき、市史に関する調査研究を実施します。
茨城国体開催推進事業	3,253	平成31年開催の茨城ゆめ国体開催事業を推進します。 (本市開催種目：なぎなた)



『ひたまるさんちの家計簿』

平成28年度の一般会計予算を1/5000に縮小して家計簿を作りました。
市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違うので、完全な置換えが難しく
わかりづらいところがあることをご了承ください。

収 入					
収入費目	歳入区分（目的別）	平成28年度		平成27年度	
		家計の収入	市予算額	家計の収入	市予算額
給 料	市税・分担金・負担金・ 使用料及び手数料等	112万円	55億8,607万円	109万円	54億4,502万円
実家からの援助	地方交付税・各種交付金・ 国県補助金等	258万円	128億8,489万円	255万円	127億6,990万円
不動産収入	財産収入等	1万円	7,105万円	2万円	8,159万円
銀行などからの 借 入 金	市債	52万円	26億280万円	47万円	23億7,350万円
貯金の取崩し	繰入金	29万円	14億7,519万円	21万円	10億2,999万円
前年度の残金	繰越金	6万円	3億円	6万円	3億円
1年間の収入合計		458万円	229億2,000万円	440万円	220億円
自 分 の 収 入 （ 自 主 財 源 ）		148万円	74億3,231万円	138万円	68億5,660万円
他 からの 収 入 （ 依 存 財 源 ）		310万円	154億8,769万円	302万円	151億4,340万円

支 出					
支出費目	歳出区分（性質別）	平成28年度		平成27年度	
		家計の支出	市予算額	家計の支出	市予算額
食 費	人件費	79万円	39億6,684万円	81万円	40億2,526万円
電気・水道代等	物件費（予備費含む）	76万円	38億805万円	74万円	37億2,453万円
医 療 費 介 護 費 用 等	扶助費	69万円	34億3,279万円	66万円	33億231万円
ロ ー ン の 返 済	公債費	54万円	26億7,760万円	57万円	28億4,384万円
家・車の修理代等	維持補修費	2万円	1億529万円	2万円	9,552万円
区 会 費 お 祝 金 等	補助費等	47万円	23億3,632万円	39万円	19億5,856万円
子 ど も へ の 仕 送 り	繰出金	56万円	28億1,951万円	58万円	29億1,781万円
家の増改築・ 車の購入代等	投資的経費（普通建設 事業費・災害復旧費）	73万円	36億6,010万円	58万円	28億8,697万円
友人へ貸したお金	投資及び出資金・貸付 金など	1万円	4,043万円	2万円	1億864万円
貯 金	積立金	1万円	7,307万円	3万円	1億3,656万円
1年間の支出合計		458万円	229億2,000万円	440万円	220億円

■問い合わせ■ 財政課 財政グループ ☎52 - 1111（内線375）

人事異動について

■退職

平成28年 3 月31日付

役 職	氏 名
政策審議監	皆川 修
総務部長	猿田 茂彦
総務部総務課付 課長	栗田 登
市民部長(兼)危機管理監	菊池 清一
保健福祉部長	木村 正幸
保健福祉部 健康推進課長 (兼)総合保健福祉センター所長	篠田 佳子
上下水道部長	安藤 孝志
山方総合支所長(兼)市民福祉課長	川野辺美恵子
美和総合支所長(兼)経済建設課長	永田 高志
美和総合支所 市民福祉課長	岡崎 巧
美和総合支所 経済建設課参事	河野 勉
美和総合支所 市民福祉課係長	坂本 勉
緒川総合支所長(兼)市民福祉課長	桑名 精一
緒川総合支所 経済建設課長	小野瀬恵男
会計管理者(兼)会計課長	横山 伸一
会計課課長補佐	増子 光子
議会事務局長	三村 勝重
教育部長	木村 雅之
山方学校給食センター 調理手	本橋はるみ
教育委員会事務局 生涯学習課参事 (兼)山方事務所長(兼)山方公民館長	三次 重雄
教育委員会事務局 生涯学習課御前山事務所長(兼)御前山公民館長	桐原 明子
教育委員会 生涯学習課課長補佐 (兼)大宮公民館長	相田こず江
西消防署 副署長	和田久仁男

■新規採用

平成28年 4 月 1 日付

部 名	課 名	氏 名
政策審議室	秘書広聴課	金子 功治
総務部	税務徴収課	古徳 祥明
	税務徴収課徴収推進室	浅川 聡史
市民部	市民課	寺門 愛加
	市民協働課	溝江 若菜
	環境課	益子 景
保健福祉部	福祉課(福祉事務所)	大貫真利江
	福祉課(福祉事務所)子育て支援室	鈴木 佑衣
	介護高齢課(福祉事務所)	野上 綾香
	医療保険課	鴨志田裕司
	健康推進課	木村 智佳
経済建設部	農林課	寺門 梨沙
	商工観光課	檜山 七海
		高沢 亮
上下水道部	水道課	益子 克樹
		秋山 貴志
教育委員会事務局	生涯学習課	小池 一輝
	図書情報館	角田 哲哉
		飯田麻由実
消防	東消防署	鈴木 聖弥

■配置換え (課長以上のみ記載)

平成28年 4 月 1 日付

部 名	役 職	氏 名
政策審議室	政策審議監	佐藤 浩之
	企画政策課長	小野 英幸
総務部	部長	山崎 俊夫
	総務課長(併)監査委員事務局長	國松 章
	税務徴収課長	森戸 耕造
市民部	部長(兼)危機管理監	宇留野 功
	次長(兼)市民協働課長	金子 正平
	市民課長	細貝 秀樹
	環境課長	橋本 敏彦
	安全まちづくり推進課長	加藤木信也
保健福祉部	部長	富嶋 稔夫
	国保美和診療所管理者(兼)内科医長	小野 公平
	国保美和診療所事務長(兼)国保緒川歯科診療所事務長	河野 良夫
	健康推進課長(兼)総合保健福祉センター所長	宇留野久美子
経済建設部	部長(併)農業委員会事務局長	大貫 保美
	次長(兼)都市建設課長	大貫 亨
	農林課長	篠田 義廣
	商工観光課長	栗田 和弘
上下水道部	部長	金子 克司
	次長(兼)下水道課長	皆川 一見
山方総合支所	総合支所長(兼)経済建設課長	宮崎 正美
	市民福祉課長	高林由美子
美和総合支所	総合支所長(兼)市民福祉課長	河西 秀美
	経済建設課長	中嶋 孝
緒川総合支所	総合支所長(兼)市民福祉課長	岡崎 任一
	経済建設課長	本橋 守
御前山総合支所	総合支所長(兼)経済建設課長	石崎 重昭
	市民福祉課長(兼)御前山保健福祉センター長	鈴木 良則
すぐ対応課	課長	檜村 勝弥
会計課	会計管理者(兼)会計課長	岸 明子
議会事務局	事務局長	小室 貞夫
	事務局次長	石川 保
農業委員会	事務局次長	小林 保夫
教育委員会事務局	教育部長	山本 洋一
	次長(兼)学校教育課長	檜村 英子
	生涯学習課長	桐原 英夫

道の駅常陸大宮 ～かわプラザ～ 開業



3月25日、道の駅常陸大宮（愛称：かわプラザ）がオープンしました。

オープン前日の24日には、来賓として橋本茨城県知事や鈴木県議会議員などが出席し、竣工式が行われました。

竣工式：24日

式典の後、道の駅玄関正面でテープカットが行われ、出席者はゆずサイダーで乾杯しました。その後、内覧会が行われました。



▲竣工記念式典



▲テープカット



▲ゆずサイダーで乾杯

オープニングイベント：25日

9時のオープンに合わせてくす玉が割られ、多くの来場者とともに開業を祝いました。



▲くす玉が割られました



▲色とりどりの風船が青空に舞い上がりました



▲来場者を出迎えました

26、27日イベント

2日間とも、市の郷土芸能や吹奏楽の団体などが演奏を披露し、来場者からたくさんの拍手が送られていました。また「常陸大宮B級グルメグランプリ店」が出店し、本市の食をPRしました。



▲朝早くから駐車場も満車になりました



▲常陸大宮市吹奏楽団の演奏



▲農産物直売所也大盛況

「道の駅 常陸大宮」～かわプラザ～

交 通：常磐自動車道那珂ICから車で30分

営 業 日：年中無休 9～18時

駐 車 場：普通130台、大型車18台

敷地面積：55,884㎡ 施設面積：2,759.1㎡

〒319-2211 常陸大宮市岩崎717-1

元気な郷づくり株式会社（管理運営会社）

☎0295-58-5038（ゴーオーミヤ） fax0295-58-5039

2/28

まちづくり団体が意見を交換しました

市内で様々な活動を行っている団体や個人を、緩やかにつなぐ「常陸大宮市まちづくりネットワーク大会」が開催されました。開会前には、久慈川でとれた鮎を使った鮎めしが提供され、美味しい食事に参加者の皆さんからは笑みがこぼれていました。

【第1部】 2015年常陸大宮市まちづくりネットワークの活動報告
ネットワーク登録各団体の2015年の活動報告

【第2部】 2016年度常陸大宮市まちづくりネットワークの主な活動について
市内を案内できる地域案内人育成について

【第3部】 ワークショップ

活動報告の様子▶



▲市の魅力について話し合った
第3部のワークショップ

当日は100人ほどの参加者でにぎわい、お互いの活動に対する情報交換や、ネットワークとしてのまちづくりへの参加などについて、意見交換を行いました。

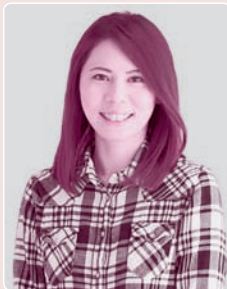
特に第3部のワークショップでは、参加者がグループに分かれキーワードにそった市内ツアーを企画するというもので、初対面の人も知り合い同士も皆さん一緒に、本市が持つ食・土地柄・環境・観光などの魅力について話し合いました。その後意見をまとめ、グループごとに魅力的なツアーを発表しました。

このワークショップで作成されたツアー内容は、市役所1階ロビーで掲示しますので、ぜひご覧ください。

展示期間 5月9日（月）～20日（金）



いっしょにまちづくり



西脇 まりこさん

昨年、常陸大宮駅前のコミュニティカフェパンホフで、様々な分野のプロが講師を務める市民主催の講座が開かれています。これまでに行われたのは、本市出身の講師による写真、デザイン、ジャズ、PRの教室です。仕事に活かしたい、趣味を充実させたい、好奇心など、参加の動機は様々です。知識やテクニックを教わるだけでなく、第一線で活躍しているプロの経験談など、ここだけの貴重なお話が聞けるとあって、市外からも大勢の受講者がいらっしゃいました。私も4つすべての教室に参加しました。参加者同士の交流もあり、受講後は「活かしたい」「役立てたい」という強い意欲が湧きました。新たな学びの場として、今後も様々なジャンルの講座が開催されるそうです。気軽に参加してみたいはいかがでしょうか。

インターネットテレビ「チャンネル038常陸大宮TV」で講座の一部を動画配信中です。

→<http://www.h038tv.com/>

3/12

結婚応援講演会

市文化センターで、ひたちおおみや結婚応援講演会が開催されました。

講師に、未来デザインコンサルタントの若尾裕之氏を迎え、「『結婚したい』と思われる人の共通点」と題し、結婚は究極の対人関係である、人生の最期から逆算して自分の人生をデザインしようという話がありました。参加者からは「結婚に向けて、プラス思考で行動することの大切さを教えてもらいました」などの感想がありました。講演会終了後には、結婚相談会も実施されました。



▲結婚するためのポイントを紹介する若尾先生

3/13

マタニティのつどい

緒川総合センターで「ハッピー子育てひたちおおみや『マタニティのつどい』」が開催され、約250人が来場しました。トークイベントでは、3人の父親でもある杉浦太陽さんを迎え、子育てに対する考え方や、家族が笑顔になる秘訣など、実体験を交えた話を披露しました。「子どもと同じ目線で遊ぶ」という杉浦さんの話に、来場者はうなずいたり笑顔になったりしながら聞き入っていました。また特別ブースでは、光畑由佳先生による子育て相談やピジョン株式会社と有限会社モーハウスの協力で、授乳服やベビー用品の展示が行われました。



▲サイン色紙を参加者にプレゼントする杉浦さん

2/27

滝ノ上遺跡現地説明会

昨年12月から今年の3月にかけて、三美地内で、畑地帯総合整備事業に伴う滝ノ上遺跡の発掘調査が行われました。その調査成果を披露するため現地説明会が行われ、天候にも恵まれて、地元住民や関東近辺から、約110人が集まりました。

この遺跡では、これまでの調査で縄文時代の集落跡があることが知られていました。今回も、縄文時代半ばとなる5,000～4,000年前の住居の跡や、食料の貯蔵穴やお墓などの堅穴が、数多く見つかりました。これらのことから、那珂川を望む台地上の、当

時の生活環境の良さがうかがえます。調査成果は、今後まとめられて公開されますので、ご期待ください。



調査員による
状況解説▶

2/18 本西の内紙が県指定無形文化財に

昨年7月、地元産楮のみを使用して、化学薬品等を用いず、伝統的な用具・技術で手漉きした“本場の西の内紙”を守ろうと結成した「本西の内紙保存会」。今年度、県指定無形文化財の保持団体に追加認定されました。認定書交付式では、菊池浩副会長が見守るなか、菊池三千春会長へ県教育長から認定書が手渡されました。

今年度、県興行試験場で実施した、紫外線カット率や強度・通気性などの試験では、処理剤や原料が異なる他紙と比較して、伝統的な西の内紙が各段に優秀であることが証明されました。この優れた伝統を、今後どのように活かし伝えていくか、本市の課題でもあります。



▲認定書交付式：菊池三千春会長（左端）

3/17 市民との協働に向けて

「市民との協働～協働の可能性を感じよう～」と題し、市職員を対象とした研修会を実施しました。講師には、茨城NPOセンター・ commonsの大野事務局長を迎え、協働の形態や事例に触れながら、その可能性や活動のヒントについて学びました。

後半には「協働」を推進するうえでの課題や、そのために市として、個人として何ができるのか、というテーマで日頃の業務を振り返りつつ、職員同士で意見交換を行いました。

地域課題の解決という共通目的を達成するために、今後も市民や市民団体等と行政が連携していくことの重要性を再確認することができました。



▲研修会の様子

3/23 新しい福祉車両が導入されました

市社会福祉協議会が運営する障害福祉サービス事業所「太陽」で、公益財団法人日本財団の助成を受けて、車いす対応の福祉車両を購入しました。同事業所では保有する送迎車両2台のうち1台が老朽化し、頻繁に修繕していました。購入した福祉車両は、日産自動車製のキャラバンで、2台の車いすと運転手を含め10人が乗車でき、車両後部ドアを開けると車いすの自動昇降リフトも付いていることから、利用者の送迎等に利用されます。

納車式では、日本財団の代理人として、日産プリンス茨城販売株式会社の草野浩一大宮店長から三次会長にレプリカキーが手渡され、利用者が試乗等を行いました。



▲車両の中を見学しました

3/25 「奥久慈なす」に注目

常陸農業協同組合なす部会連絡会（梶山肇司会長）の生産する「奥久慈なす」が、県北地域で初めて銘柄産地に指定され、指定証の交付と表彰式が行われました。

「奥久慈なす」は、出荷規定が厳格化されているため、市場等での品質評価は高く、収益性も高いと若手農業者も注目する銘柄です。なす部会連絡会では、昭和63年頃から軽量で高齢者や女性にも扱いやすいなす栽培を導入し、新規栽培者の確保・育成が図られてきました。近年では、レシピを作成するなどPRに努めています。



▲表彰式の後、記念撮影

お宝発見事業の第6回を実施しました。最終回となる今回は18人が参加し、本市に伝わる民話について学びました。

まず茨城大学の西野教授から、民話の特徴や楽しみ方などについて話を聞き、その後、民話の舞台となった場所めぐりに出発。「朝日姫と鏡ヶ池」（下岩瀬）、「宇留野のゴキ井戸」（宇留野）、「機織り石」（西塩子）の3つの民話が舞台となった場所で、平島則子さん（いばらき昔ばなし大学再話研究会代表）の語りを聴きま

した。参加者は、平島さんの語り口に引き込まれ、民話の世界を楽しんだ様子でした。

午後は、これまでの体験で学んだことや感想等を話し合いながらまとめ、最後に一人ひとりが修了証を受け取って、今年度の事業すべてが終了しました。

参加した子どもたちは、全6回の体験をとおして、本市をより理解し、ふるさとへの愛着を深めるきっかけをつくることができました。



▲鏡ヶ池の民話を聴く



▲大きな機織り石にビックリ



▲話し合って意見をまとめました

山方地域に、筑波大学増田研究室の教授や学生、海外からの留学生が訪れ、山方林業研究会（通野三郎会長）の皆さんと交流しました。

午前中は、高村喜典氏の畑で^{こうぞ}楮の収穫体験。太いものでは直径3cmほどにもなる楮を協力しながら刈り取り、気持ちよく汗をかきました。

午後からは、家和楽にある炭焼き窯へ移動。学生たちは、研究会の皆さんに質問をしながら炭焼きの様子を見学し、里山の暮らしや習慣に触れることができたようです。



▲手作りのイスとテーブルで昼食

サポーターを 大募集!!

**KENPOKU
ART 2016**
茨城県北芸術祭
2016.9.17-11.20

9月17日（土）から11月20日（日）までの65日間、本市を含む県北6市町で、茨城県初の国際芸術祭「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」が開催されます。

茨城県北芸術祭実行委員会では、アーティストの作品制作や芸術祭の会場運営等の手伝いができるサポーターを募集しています。アートに関心がある方、ボランティア活動に興味がある方、いろいろな人と交流したい方など、多くの皆さんからのご応募をお待ちしています。

参加資格や活動内容の詳細は、下記までお問い合わせください。

茨城県 県北振興課 ☎029-301-2727

常陸大宮市 企画政策課 ☎52-1111（内線310）

WEB <http://kenpoku-art.jp/>

※登録用紙を用意しています。

3/14

教育長賞を受賞

明峰中学校1年（受賞時）の山本優乃さんが、茨城県中学校総合体育大会スキー競技の部（ジャイアントスラローム、スラローム）で優秀な成績を収め、教育長賞を受賞しました。山本さんはこの大会で第2位となり、北海道で行われた平成27年度全国中学校体育大会第53回全国中学校スキー大会に茨城県代表として出場しました。



▲受賞した明峰中学校の山本優乃さん

3/31

県教育委員会から表彰

【村田小学校】

平成27年度小学校理科教科担任制モデル事業のモデル校として、表彰されました。高学年の理科の授業で教科担任制を実施し、「推進地域モデル校」として、公開授業研究会を開催しました。

【上野小学校】

小学校理科教科担任制モデル事業のモデル校として、平成25年度から3年間、小学校高学年の理科の授業で教科担任制を実施し、表彰されました。



▲三智校長
(村田小学校)



▲小林正之校長
(上野小学校)

4/1

地域おこし協力隊

地域の維持・活性化等の推進を図ることを目的に「常陸大宮市地域おこし協力隊」として、4人に委嘱状を交付しました。

地域おこし協力には、人口減少や高齢化が進行する地域で、地域外の人材を受け入れ、協力活動を行ってもらいます。また地域力の維持・強化を図るために、これから4つのミッションに向かってそれぞれ活動を開始します。

隊員は、「地域の人たちと一緒に、力を合わせて課題に取り組んでいこう」と意気込んでいます。

皆さんのご協力、よろしくお願いします。



▲左から志賀瑞穂さん、間瀬邦生さん、木元枝里さん、岩崎文香さん

4/1

市の観光イベントをPR

本市の観光やイベントなどを全国に発信する観光大使に、加藤木あゆみさん（水戸市在住）と木村茜さん（つくば市在住）が選ばれました。

任期は2年間です。

2人は「マスコットキャラクターのひたまと一緒に、自然豊かな常陸大宮市の良さをたくさんの人に知ってほしい」と意気込みを語りました。観光大使としての初めての仕事は、第7回辰ノ口さくら祭りで、それを皮切りに様々なイベント等に参加する予定です。



▲新しい観光大使となった加藤木さん(左)と木村さん(右)

3/21

達川光男さんによる野球教室&講演会

元プロ野球選手の達川光男さんによる野球教室と講演会（主催：常陸大宮市体育協会、常陸大宮市軟式野球連盟）が、西部総合公園で開催されました。

この日は、市内のスポーツ少年団や野球部の中学生たちが集まり、けがをしないためのストレッチ方法やキャッチボール、バッティングなどについて指導を受けました。達川さんの「肘や肩を壊さないためには入念なストレッチが大切」「送球もバッティングも頭を動かさないことが重要」等、厳しいながらも熱のこもった具体的な指導に、子どもたちも熱心に話を聞いていました。



▲バッティングの基本について語る達川さん



▲バッテリーを組む相手には感謝の気持ちが大切と話しました

野球教室に参加した、常陸大宮リトルリーグの本橋優太郎さんは「練習方法がとても参考になった。中学校に行っても今日教わったマエケン体操を続けたい」と話していました。

また午後からの講演会には約150人が来場し、現役時代の話を交えながら、「努力しても夢が叶うとは限らない。でも叶った人は必ず努力している」と継続することの大切さについて話しました。

3/17、
24

ゴムバンドトレーニング体験教室

西部総合公園体育館でゴムバンドトレーニング体験教室（主催：スポーツクラブひたまる25）が開催されました。このトレーニングは、ゴム製のバンドで負荷をかけることで、筋力強化だけでなく身体のコンディションを整える効果も期待できます。

今回は初心者向けの内容で、始めに入念なストレッチをした後、ゴムバンドでトレーニング。講師の関裕紀子先生の掛け声に合わせて、全身の筋肉を気持ちよく伸ばしました。参加者からは「自分のペースでできるのがよい。先生の分かりやすい指導が良かった」という声がありました。



▲気になる二の腕をトレーニング

スポーツ大会結果

第6回常陸大宮市近郊中学校ソフトテニス大会

開催日：3月12日

主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
家和楽運動公園テニスコート
西部総合公園テニスコート

参加チーム：男子8チーム、女子12チーム

【男子の部】

優勝 那珂市立第三中学校
準優勝 常陸大宮市立大宮中学校
第3位 東海村立東海南中学校
東海村立東海中学校

【女子の部】

優勝 那珂市立第二中学校
準優勝 東海村立東海中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校
東海村立東海南中学校



平成28年経済センサスー活動調査

平成28年6月1日現在で実施します。オンラインで回答できます。

●経済センサスー活動調査とは？

全国すべての事業所及び企業を対象に、全産業分野の売上（収入）金額や費用などの経理項目を、同一時点で網羅的に把握します。我が国における事業所・企業の経済活動を、全国的及び地域的に明らかにするとともに、各種統計調査の母集団情報を得ることを目的として実施され、今回は2回目の調査です。

●二つの調査方法があります

- ・「調査員調査」は、単独事業所及び新設された事業所を調査員が訪問して調査します。回答は、「オンライン」または「紙の調査票」による方法があります。調査書類は、5月末日までに調査員が配布します。
- ・「直轄調査」は、支社等を有する企業等に国が郵送にて調査を実施します。回答は、「オンライン」または「郵送」による方法があります。

●ぜひオンラインで回答ください！

- ・事業所や企業には、個別にログイン用IDが配布され、データは不正アクセスから厳重に守られます。また、データの送受信は、暗号化（SSL/TSL方式）によって保護されます。
- ・回答期間中は24時間いつでも対応が可能で、調査に関してすべてパソコン上で完結するため郵送等の手間が省けます。
- ・本社等で複数の事業所のデータをまとめて提出でき、回答後も修正が可能です。

【平成28年経済センサスー活動調査キャンペーンサイト】

<http://www.e-census2016.stat.go.jp/>

■問い合わせ■ 総務課 情報・統計グループ
☎52-1111（内線318）

VOL.22

職員のつぶやき～職員リレートーク～

消防学校で半年間の厳しい訓練を終え、現在は東消防署に勤務しています。現場や訓練での正確かつ迅速な対応を見て、先輩方に少しでも追いつけるよう日々訓練に励んでいます。

消防は、災害から市民の安全を守る消火・救助・救急の現場活動、そして災害を未然に防ぐ予防業務など、広範囲にわたる職業です。そのために、これから日々厳しい訓練を行い、体力・知識・技能の向上に努めていきます。

そして、安全で安心な常陸大宮市を築くため、常に初心を忘れず強い信念を持った消防士を目指していきます。

東消防署
木村謙仁



昨年4月に市消防吏員として入職し、茨城県立消防学校で半年間の初任科教育を受け、9月から東消防署の隊員として配属されました。人命に関わる災害・救急現場では、迅速な対応力や判断力を求められるなど多くの難しさもありますが、消防活動に必要な知識・技術を身に付け、市民の生命と財産を守っていけるように日々精進していきます。

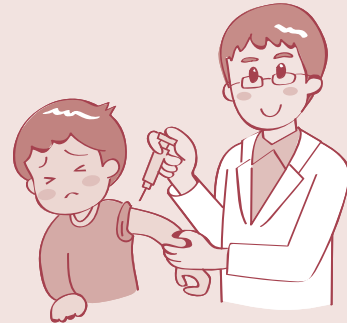
また、2月に行われた常陸大宮駅伝大会に消防本部の代表として出場した際、多くの市民の方々に暖かい声援をいただき、素晴らしい成績を残すことができました。本当にありがとうございました。



東消防署 岡崎光平

予防接種について

予防接種とは、ウイルスや細菌に対するワクチンを接種することで、治療が難しかったり、重い合併症を伴うような感染症を予防したり、症状を軽くしたりする方法です。日本でも、乳幼児へのヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの定期接種が始まり、重い後遺症を伴ったり、命が脅かされたりすることもある細菌性髄膜炎の発症が減りました。



健康
通信

常陸大宮済生会病院

小児科部長
佐藤 未織 先生

近年ワクチンの種類が増え、同時接種を行う病院も増えています。同時接種とは、2種類以上の予防接種を同時に行うものです。生ワクチンを含む複数のワクチンを同時に接種しても、それぞれのワクチンは有効に働き、副反応の頻度が上がることはありません。子どもたちに同時接種を行う利点は、ワクチンで予防される感染症から早期に守られること、保護者の経済的・時間的負担が軽くなることがあげられます。

予防接種をすることでワクチンを接種する本人はもちろん、周りの人をそれらの感染症から守ることができます。特に感染症から守らなくてはいけないのが、ワクチンを受ける年齢に達していない子どもたち、妊婦、ワクチンを受けたくても病気のために受けられない人、体力の低下した高齢者です。

例えば妊婦が風疹に感染すると、へその緒を通じておなかの赤ちゃんも風疹に感染し、生まれつき目が見えなかったり、耳が聞こえなかったり、心臓の壁に穴が開くなどの障害を残す「先天性風疹症候群」を発症することがあります。先天性風疹症候群を予防するためには、周囲が風疹の予防接種をきちんと行い、地域で風疹を流行させないことが大切です。

また、予防接種の副反応による健康被害はまれですが、万が一起こった場合には予防接種健康被害救済制度（医療費などの給付制度）があります。

予防接種は“自分のため、周りのみんなのため”に行います。ワクチンについて正しい知識を持ち、接種スケジュールなど不明な点があれば、近隣の小児科、かかりつけ医、保健センターなどに相談しましょう。

駒形神社の春まつり

今年も本格的な農耕シーズンがやってきました。田畑ではトラクターや田植え機が大活躍。3月末から4月末にかけて、豊作と家内安全を祈願する春まつりも、市内各所の神社で行われます。

【大きく変わった農事暦と農作業】

市内の早い田んぼでは4月下旬に行われ、5月末には、ほぼ終わっている田植え。昭和30年代までは、梅雨真っ盛りの6月が最盛期でした。

多くの水稻は、かつては4月に入ってから田を起し、下旬から苗代の準備をして5月初旬に種を播き、苗が育つ間に、茶摘と製茶、養蚕（春蚕）、葉煙草の土寄せ、大麦刈りなどを行って、田植えは7月中旬の祇園祭までに終わらせるといった具合でした。

今年の暦の上での入梅は6月10日。旧暦では5月6日です。「五月雨（さみだれ）」が梅雨時の降雨を示す言葉であることも、いつか忘れられてしまうでしょう。

農業機械のない当時、作業はもちろん鋤や鍬等を使っての手作業。そのような農作業の道具（？）の中で、最も高価で頼りになったのが“馬”でした。

【馬とともにあった人々の暮らし】

農作業に力を発揮する上、厩肥を有効に活用できるとして、水戸藩では馬の増産を図っていました。最も力を入れたのが、幕末の藩主 烈公こと徳川斉昭で、水戸郊外に桜野牧を開設した他、里子駒や仕法馬（※注）の制度を用いて、農家への馬の普及を進めました。この政策は藩の思惑通りにはいかず、制度を緩和し、飼育も売買も自由にしてから農民の生産意欲が高まり、多賀・久慈・那珂3郡の山村は、水戸駒として他領へも産馬を流通させるほどの馬産地となりました。

馬は今で言えば、耕うん機であり軽トラック。飼育に手間は掛かりますが、馬のおかげで重労働がどれだけ軽減され、作業効率が高まったか、我々の想像では計り知れません。また、馬は愛情をもって接すれば応えてくれる、心優しい家族の一員でもありました。

【馬の神様 駒形神社】

この大切な馬を守護する神を祀るのが駒形神社で、本社は南部駒で有名な岩手県水沢市にあります。関東・東北地方に分社が数多く分布しており、市内にも「駒形神社」と文字を彫った石塔が散見され

尺丈山頂の駒形神社への参道▶



るほか、美和地域高部の尺丈山々頂に駒形神社があります。標高511mの頂上は、奥久慈の山々の展望がすばらしく、運がよければ日光や那須の連山はもちろん、富士山まで望むことができます。さらには市内一の高所でありながら、稜線は思いのほか広く長く、神社へ続く桜並木の参道となっています。

戦後間もなくまで、この神社で行われてきた春まつりには、周辺地域に住む人々が飾り立てた飼馬を曳いて山頂の社に詣で、これからの農繁期の馬の健康と豊作を祈願するとともに、山上の桜並木で競馬に興じたとのことです。農馬まで軍馬として徴用され、戦後は著しく馬も減っていたためか、この祭礼は時をおかずに行われなくなってしまったようです。すでに祭日も不明確ですが、神社周囲の3基の石塔に刻された日付から、祭礼の日は旧暦3月17日であったと思われます。今年は新暦4月23日にあたります。

明治7年3月17日に建てられた石塔▶



【茨城県北版チャグチャグ馬ッコ】

皆さんすでにお気づきでしょう。このお祭りは、岩手県盛岡地域で行われる有名な民俗行事、着飾らせた馬を連れて駒形蒼前神社に参詣し、馬の健康と安全を祈る「チャグチャグ馬ッコ」と同類です。しかも、当地で飾り立てた馬を曳いて詣でる山上の社寺は他にもあり、緒川地域大岩・小舟周辺の人々は、栃木県の烏山・茂木境の松倉山へ、久慈川流域の人々は西金砂山へと登ったそうです。

西金砂神社境内の駒形神社は、祭日が西金砂本社の春季例祭と同日（今は4/20）であったため、春まつりは今でも「駒形さん」の名で親しまれています。美しい馬を連れての参詣は昭和30年代まで見られ、参道で競馬も行われたとのこと。西金砂神社の春まつりに参詣した人々の間では、種駒の交換が行われたとも伝えられます。

山桜の咲く季節、市内各所の山中に、農作業から解放され晴れ姿でかっ歩する駒の、いななきが響いた時代があったのです。

注：里子駒は、藩がメス馬を農民に預け、増産した仔馬3匹を藩に納付すると、預かったメス馬を与えられる制度。仕法馬は、馬を持たない農家に対して藩が馬を先渡しし、その代金を貸し付けて、利息1割3年賦で返済させる制度。

※今回の取材にあたり、高部諏訪神社宮司の高部孝夫氏と西金砂神社宮司の中嶋又実氏にご協力いただきました。次回からの「ふるさと見て歩き」は、歴史文化振興室が担当します。



火遊びによる火災を防止しましょう

春を迎え、暖かな日が続くこの頃、子どもたちが外で遊ぶ機会も増えてきました。

そこで、これからの季節はもちろん普段から気をつけなければいけないことに、火遊びがあります。火遊びによる火災は、大人がいない時に起きることが多く、通報の遅れによって、火災の拡大をまねく恐れがあります。親や周囲の大人が注意を払うとともに、日頃から子どもたちに火の怖さを具体的に教え、時には子どもの視線に立って火遊びの元になるものがないか点検するなど、大人の責任で火の元を管理しましょう。

＜火遊びを防ぐポイント＞

- 1.ライターやマッチは、子どもの手のとどかない場所に置く。
- 2.幼児期から火の恐ろしさ、火遊びの危険性を教える。
- 3.子どもだけを残して外出しない。
- 4.子どもだけでは火を使わせない。
- 5.火遊びを見つけたら、注意してやめさせる。



消火栓・防火水槽付近は駐車禁止です

消火栓、防火水槽をご存知でしょうか。これらは、火災等の災害が発生した時に欠かすことのできない「水」を、消防隊に供給する施設です。消防署では災害に備え、直ちに使用できるよう定期的に点検を実施しています。「ちょっとだけなら」と駐車して、災害が発生してしまったら…。消火栓、防火水槽付近に駐車車両があると障害になり、消火活動の妨げとなってしまいます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

○常陸大宮市内には1000基を超える消火栓、防火水槽が設置されています。

🚫 駐車禁止場所 🚫

- ・消火栓から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の吸水口もしくは、吸管投入口から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の側端または、これらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分
- ・消防用機械器具置場（消防車の車庫）の側端または、これらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分
- ・駐車車両の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がない場合

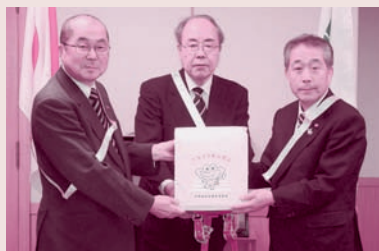
🌸 善意をありがとう 🌸

順不同・敬称略

＜新入学児童生徒の安全を願って＞



JA常陸農業協同組合
通学帽



大宮地区交通安全協会
ランドセルカバー&タスキ



常陽銀行
防犯ブザー

☆インターネット取引での支払い☆ ～それぞれの決済方法のメリット・デメリットを よく理解して安心な取引をしましょう～

インターネット取引では、様々な決済サービスが用意されています。どの決済方法を利用するか判断するには、それぞれ以下の点に注意しながら利用しましょう。

【決済の種類】

- ・前払い…商品・サービスの提供を受ける前に支払いをする方法
(例) プリペイドカード、銀行振込(前払い)
- ・即時払い…商品・サービスの提供を受けると同時に支払いをする方法
(例) デビットカード、代金引換
- ・後払い…商品・サービスの提供を受けた後に支払いをする方法
(例) クレジットカード、キャリア決済(携帯電話)



「前払い」は商品・サービスが提供されていない状態での支払いなので、商品未着やサービス未提供といったリスクがあります。「後払い」の代表であるクレジットカード決済では、インターネット上でカード情報を入力するため、情報漏えいのリスクがあります。以下の注意点を覚えておけば、そのリスクを最小限に留めることができます。

【インターネット取引における決済の注意ポイント】

- 銀行振込の前払いだけでなく、カード支払いや代金引換など、決済手段が複数用意されている販売店を選ぶようにしましょう。
- 前払いの際には、サイト運営者と口座名義人が同一であることを確認しましょう。
特に、個人名口座への振り込みは慎重に！
- インターネット取引におけるID・パスワードは、推測されにくいものに設定し、他のサイトでの使い回しはやめましょう。また、パスワードは定期的に変更しましょう。

- クレジットカード番号などを入力する画面では、通信が暗号化(SSL)されているなど、情報取扱が適切なショップを利用しましょう。信頼性が低いと思われるサイトでは、クレジットカードでの購入を控えましょう。
- 不安に思ったりトラブルにあったりした場合は、消費生活センター等に相談しましょう。

【問い合わせ】

茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)
(本庁商工観光課内)
※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

今月の耳より情報 No.13

今月号の「おすすめのお散歩コース」に、情報が寄せられました。

「宇留野公園」

宇留野公園から久慈川に向かって降りていくと、桜の季節はもとより、新緑の季節は気持ちのよい景色が見られそうです。また近くの小川にはサワガニがいて、水の透明度も高そうです。



6月号の情報を大募集!!

6月号のテーマは、「夏休みの自由研究」です。子どもたちの苦労した自由研究や宿題の思い出、今はこれが役に立つ、などの情報をお寄せください。

5月20日(金)までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52-1111(内線312)

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6
Eメールアドレス

→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードからの投稿はこちら→



ひたまるがゆく

道の駅常陸大宮オープン

3月25日にオープンした道の駅常陸大宮。前日の24日には竣工記念式典が行われ、ひたまるも参加しました。

待ちに待った開業にひたまるも大興奮！さっそく農産物や特産品の売り場で、大好きな納豆やいちごを見つけました。

またジェラート売り場の「えごま味」にびっくり。えごまの香ばしく濃厚な風味とやさしい甘みが口いっぱいに広がり、とても幸せな気分になりました。また、ほかにも常陸大黒や瑞穂農場のミルク味なども食べてみたいと思ったひたまるでした。



▲テープカットに参加



▲7種類のジェラート



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.20

人気のあるエクササイズ系の教室を、5月から本格的にスタートします。まずはピラティス教室（第1期・全10回）とコアトレ教室（第1期・全8回）、月イチYoga教室（全8回）について広報常陸大宮お知らせ版4月11日号（No323）で、4月25日（月）から参加申込みを受け付けています。

カルチャースクール等に比べて格安の料金で、しかもクオリティの高い講座を受講できるチャンスです。皆さんの参加をお待ちしています。

■問い合わせ■ 生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111（内線342・343）



▲ピラティス教室(左)、コアトレ教室(右)

ナガハシスミレ



（スミレ科スミレ属）



御前山ビオトープ周辺の植物等

北海道から島根県までの主に日本海側に分布しますが、太平洋側にも所々飛んで分布しています。県内では、御前山から笠間市にかけての山地部に生育しています。花は4月上旬から5月下旬頃に咲き、淡紫色から濃紫色まで濃淡があります。距（花の後ろに突き出た蜜の入った袋の部分）が長いのが一番の特徴で、別名をテングスミレともいい、ともに距が長いのが名前の由来になっています。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

常陸大宮市の人口

（4月1日現在・推計常住者）

総人口 42,071人

（男 20,742人 女 21,329人）

世帯数 16,387世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 4月 第139号

発行日 平成28年4月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hisyokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。